

たまねぎレポート【350号】



平成28年12月26日

阪南青果株式会社

社内報

11月の天気は、北日本では気温がかなり低く、上旬は記録的な低温であった。西日本は平年並みだった。北日本の日本海側の日照時間はかなり少なかった。東日本の日本海側、沖縄・奄美は多かった。24日には関東・甲信越の広い範囲で季節はずれの降雪があり、11月としては記録的な積雪となった。12月に入ってから、9～11日は北海道地方では大雪に見舞われ、札幌では39年振りの積雪となり、空港など交通機関が麻痺し、その後の22～23日も大雪で鉄道の運休、空港閉鎖が相次いだ。

気象庁が発表した1～3月の3か月予報では、此の期間の平均気温は、北・東日本で平年並み亦は高い。降水量は、北日本で平年並み亦は多い。沖縄・奄美では平年並み亦は少ない。月別予報は次の通り。

1月、北日本の日本海側では、平年同様に曇りや雪の日が多く、太平洋側では平年に比べ晴れの日が少ない。東・西日本の日本海側では、平年同様に曇りや雪または雨の日が多く、太平洋側では平年同様に晴れの日が多い。沖縄・奄美では平年同様に曇りや雨の日が多い。

2月、北日本の日本海側では、平年同様に曇りや雪の日が多い。東・西日本の日本海側では、平年同様に曇りや雪または雨の日が多い。北・東・西日本の太平洋側では平年同様に晴れの日が多い。沖縄・奄美では平年同様に曇りや雨の日が多い。

3月、北日本の日本海側では、平年同様に曇りや雪または雨の日が多く、太平洋側では、平年と同様に晴れの日が多い。東・西日本では、天気は数日の周期で変わり、太平洋側では、平年同様に晴れの日が多い。沖縄・奄美では、平年に比べ曇りや雨の日が少ない。

需要(市場)の動き

野菜の概況

11月の主要市場の野菜の入荷は、福岡以外の市場で前年比減となった。全国的な日照不足で多くの品目が生育不良で、出荷が減少した。10月に続く入荷減で需給はタイトになり、平均価格は10月の前年比3割高から5割高に上昇した。市場別に入荷と価格は、札幌市場の入荷は前年比99%、平均価格はkg ¥202前年比146%。東京市場は前年比95%の入荷で、平均価格はkg ¥290前年比149%。名古屋市場は前年比89%の入荷で、平均単価はkg ¥267前年比151%。大阪本場の入荷は前年比91%で、平均単価はkg ¥296前年比154%。福岡市場の入荷は前年比110%で平均単価はkg ¥212前年比155%となっている。

11月の主要市場の玉葱の入荷は、北海道産の豊作で倉入れ調整などから出荷が積極化したことで、総ての市場で前年比増となった。市場別では、札幌

市場の入荷は4,581トン前年比121%、平均単価は kg¥65前年比112%。東京市場は10,732トンの入荷で前年比116%、平均単価は kg¥74前年比100%。名古屋市場の入荷は6,351トン前年比103%、平均単価は kg¥67前年比98%。大阪本場の入荷は4,145トン前年比111%、平均単価は kg¥80前年比101%。福岡市場の入荷は5,036トン前年比148%、平均単価は kg¥99前年比127%となっている。他野菜の高値で代替え需要もあり、予想を上回る入荷となったが、平均価格は多くの市場で前年比高であった。

日本農業新聞社が集計した、全国主要7地区の代表荷受7社の、主要野菜14品目の11月の販売量は、88,087トン前年比100%(前月比89%)。平均単価はkg¥183前年比165%(前月比93%)の高値で、3か月連続の前年比2桁高となっている。11月の野菜は、天候不順で異常高値となった10月の後遺症で、代表荷受の入荷は回復傾向となったものの、全国的には前年比減で拠点市場から地方市場への転送が活発化した。代表荷受7社の集計で販売量が前年比増となった品目はタマネギが前年比29%増、ジャガイモが20%増、ハクサイが15%増など5品目。前年比減はトマトの前年比40%減を始め、ホウレンソウが28%減、ニンジンが17%減など8品目。価格は14品目中サトイモを除く13品目が前年比高となっている。ハクサイがkg¥144で前年比144%高、レタスがkg¥228で135%高、ピーマンがkg¥515で134%高など13品目。前年比安はサトイモがkg¥984で唯一前年比7%安となっている。

東京都中央卸売市場の11月の野菜の入荷は、120,580トン前年比95%(前月比93%)であった。主要品目で前年比増となった品目は、ハクサイが前年比124%となったのを始め、タマネギが116%、サトイモが114%等6品目(前月は4品目)。前年比減の品目は、トマトの前年比57%を始め、ホウレンソウが68%、レタスが80%など9品目(前月は11品目)。平均単価はkg¥290前年比149%(前月比92%)で、値下がり傾向となったものの依然高値水準を維持した。

東京都中央卸売市場の11月の入荷量と単価

品 目	入荷量 (t)	前年比 (%)	前月比 (%)	単 価 (¥/kg)	前年比 (%)	前月比 (%)
野 菜 総 数	120,580	94.5	92.8	290	149.1	91.8
た ま ね ぎ	10,732	115.8	100.1	74	100.4	87.1
は く さ い	14,560	124.4	98.9	116	245.9	81.1
キ ャ ベ ツ	13,717	101.0	82.2	172	208.1	103.6
だ い こ ん	12,485	98.1	100.1	124	228.5	83.2
ば れ い し ょ	7,235	102.4	95.4	170	174.0	109.7
に ん じ ん	6,912	89.9	88.2	211	169.8	80.8
レ タ ス	6,827	80.3	104.1	284	242.8	71.4
き ゆ う り	4,432	92.8	83.4	449	147.4	90.3
ト マ ト	3,912	56.7	67.8	624	213.7	114.5
か ぼ ち ゃ	2,259	76.8	63.9	273	189.4	140.7
れ ん こ ん	836	90.1	94.6	550	125.6	99.3
な が い も	723	90.4	86.1	453	121.6	102.3
に ん に く	281	98.3	114.7	1,234	124.1	100.6

玉葱の概況

東京市場

東京都中央卸売市場の11月の玉葱の入荷は、10,732トン前年比116%（前月比100%）で市況は引き続き軟調場面が続いた。北海物主力の販売で北海物の入荷は10,316トン前年比115%、占有率は96%で前年比1ポイントダウン。中国物の入荷は348トン前年比162%、占有率は3%で前年比1ポイントアップ。兵庫物の入荷は48トン前年比92%、占有率は0.4%で前年比0.2ポイントダウン。平均単価はkg ¥74前年比100%（前月比87%）。産地別

の月平均価格は北海物がkg¥73前年比102%、兵庫物はkg¥273前年比118%、中国物はkg¥67前年比69%であった。旬別の平均単価は、上旬が¥75、中旬¥73、下旬¥73で、下値固めの動きとなった。

12月に入ってから、野菜の需給はタイトで品薄高傾向が続いたが、玉葱は潤沢な入荷で荷凭れ状態となった。亦、北海物は豊作を反映して、球流れは大粒で2L、L大中心で、量販店など小売店から注文の多いL、Mが少なく、Lは品薄傾向で日々完売するも、2L、L大は品余りで在庫が増加した。月半ばには、産地での倉入れ作業が終了し、出荷調整が容易になったことで、入荷は減少傾向となり、在庫も減少した。因みに上旬の入荷は、前年比115%で平均単価はkg¥74。中旬は前年比89%の入荷で平均単価はkg¥74であった。年末需要期となった昨今では、荷動きはやや回復歩調にあるが、北海物の入荷は順次早生から中晩生に移行しつつあるも、球流れは、依然として2Lが50%前後を占め、L大、Lの品薄状態が続いている。相場は荷受各社の値上げ誘導でやや底上げの気配にある。

名古屋市場

名古屋中央卸売市場の11月の玉葱の入荷量は、6,351トン前年比103%(前月比98%)で順調であった。前月同様北海物の独占的販売で、北海物の入荷は6,334トン前年比103%、占有率は前月同様100%弱で前年比1ポイントアップ。中国物は12トンの入荷で前年比66%、平均単価はkg¥67前年比99%(前月比89%)弱保合で推移した。産地別の平均単価は、北海物はkg¥67前年比99%。中国物はkg¥106前年比123%となっている。

12月に入っても、鳴かず飛ばずの横這い相場が続いていたが、年末需要期を迎えた月半ばからは、年末の手当買いなどから荷動きに変化の兆しが見受けられた。他方、入荷はやや減少傾向になったのを受け、荷受けでは値上げ誘導の販売に動いている。今年の北見産は大粒で、球流れは2Lばかりのロットもあり、2Lの販売に苦勞し、2Lの滞貨が多い。L大、Lはそれなりに動いている。

大阪本場

大阪市中央卸売市場本場の11月の玉葱の販売量は、4,145トン前年比111%(前月比90%)で順調であった。北海物の入荷は前月を下回ったものの、豊作となった道東産地からの入荷が多く、北海物主力の販売となった。北海物の入荷は、3,838トン前年比115%(前月比83%)、占有率は93%で前年比4ポイントアップ。兵庫物の入荷は304トン前年比76%、占有率は7%で前年比4ポイントダウン。中国物は4トンの入荷で前年比118%。平均単価はkg ¥80前年比101%(前月比93%)で、市況は弱保合で推移した。産地別では、北海物はkg ¥66で前年比100%、兵庫物はkg ¥255で前年比133%、中国物はkg ¥79となっている。

12月は20日までの販売量は、2,826トン前年比125%、平均単価はkg ¥78で前年比93%となっている。入荷増ながら相場は底打ちの気配である。月始めから荷受各社は、採算割れの販売回避を目論見、北海物の出荷抑制を要請したこともあり、一時入荷が減少傾向となり、在庫も減少気配となったが、つかの間の減少でその後は潤沢な入荷が続いた。荷受けサイドでは、赤字販売の自粛に努めたことで相場は底上げ傾向となったが、2L主力の荷口が多く、2Lは荷凭れで在庫増となり、L大、Lは順調な動きとなった。現在もL大、Lは品不足気味で2Lは品余り状態が続いている。淡路物は高値反動と品質劣化が目立ち、下押し相場となっている。

福岡市場

福岡市中央卸売市場の11月の玉葱の入荷は、5,036トン前年比148%(前月比121%)で潤沢であった。他の主要市場に比べ市況が割高に推移したことで各産地からの入荷が増加した。北海物主力の販売で、北海物の入荷は4,302トン前年比145%、占有率は85%で前年比2ポイントダウン。富山物は352トンの入荷で前年は入荷なし。占有率は7%。中国物は302トンの入荷で前年比83%、占有率は6%で5ポイントダウン。平均単価はkg ¥99前年比12

7%(前月比88%)で、他市場に比べ割高であった。産地別では、北海物はkg ¥90で前年比118%、富山物はkg ¥217、中国物はkg ¥53で前年比70%となっている。

12月に入って、20日までの入荷は2,581トン前年比169%、平均単価はkg ¥79前年比105%となっている。月始めから順調な入荷が続いたが、転送需要が活発で、前売りも荷凭れすることはなかった。いずれの荷口も2Lが多く、注文はL大、Lに偏重していたため、2Lは受け皿探しに、L、Mは数量確保と配分に苦労した。香川、愛媛の冷蔵物はこだわり筋に嵌め込んでいるが、入荷が少ないものの、高値のため引き合いが少なく、だらだら売りを続けている。此処に来て、北海物はそれなりの入荷はあるものの、荷動き良く年内の販売量にも事欠く状態で、追加発送を要請している。

12月26日(月)の建値市場の玉葱市況は次の通り

【札幌市場】 入荷72トン、保合

北海道 20kgDB2L¥1,200~1,050、L大 ¥1,300~1,200、L ¥1,250~1,200、
M なし

北海道 20kgNT2L¥1,100~1,000、L大 ¥1,100~ 900、L ¥1,150~1,000、
M¥600~ S¥400~

【太田市場】 入荷217トン、保合

北海道 20kgDB2L¥1,250~1,150、L大 ¥1,500~1,200、L ¥1,500~1,300、
M¥1,200~1,100。

【名古屋北部】 入荷657トン、弱保合

北海道 20kgDB2L¥1,300~1,200、L大 ¥1,500~1,300、L ¥1,500~1,350、
M¥1,300~

【大阪本場】 入荷171トン、弱保合

兵庫 10kgDB2L¥2,200～1,800、L¥2,400～1,800、M¥2,000～1,700、
S¥1,400～1,300。

北海道 20kgDB2L¥1,300～1,200、L大 ¥1,500～1,400、L ¥1,600～1,400、
M¥1,300～

【福岡市場】 入荷917トン、強保合

香川 10kgDB2L¥3,000～2,800、L ¥3,000～2,800、M ¥2,800～2,600。

北海道 20kgDB2L¥1,300～1,200、L大 ¥1,500～1,300、L ¥1,700～1,400、
M¥1,500～1,300。

供給(産地)の動き

11月の野菜の市況は、主力野菜を中心に高値が続き、月平均単価は何れの市場も、前年比5割高となった。そのなかで玉葱だけが潤沢な出回りで、前年並みの安値水準にとどまった。主力の北海物は、主産地の北見が前年を上回る予想外の豊作となったことで、豊作であった前年並みの出回り量となった。出荷最盛期の9～10月は、天候不順の影響で収穫・出荷が後ズレ傾向となったが、11月からは順調な出荷が続き、現在の産地在庫は前年並みか前年をやや下回る水準にあると予想されるが、年明けの需給が好転した訳ではない。

府県産の冷蔵物の越年量は5,000トン前後と少ない。既に次シーズンの作付け期に入っているものの、降雨と日照不足に阻まれ、定植が大幅に遅れている。年明けからは静岡の極早生の出荷が始まるが、数量的には前年を下回る予想であり、2月末から出荷が始まる長崎、佐賀の極早生も初期生育が不順で後ズレの可能性が高い。

輸入は、日本市場の低迷で成約は進んでいないが、何れの輸出国も国内マーケットが振るわず、現地価格は値下がり傾向にあり、今後も11月と同様に予想を上回る可能性がある。昨年、台湾、韓国向けに北海物が輸出されたが、今年は数量的には期待薄である。

年明けの玉葱の供給量は、北海物、府県物共に前年をやや下回るものの、輸入物は前年をやや上回り、輸出は前年を大幅に下回ると予想している。

北海道産地

北海道産地では、根雪が早く年内出荷は一段落し、産地関係者の間では、越年販売の検討に入っている。11～12月は秋冬野菜の市況高が続いたなかで、唯一割安となった玉葱の需要は増加傾向となり、安値相場ながらも出荷は前年を上回った。年内出荷の進捗率は発表されていないが、計画の64%を上回っていると思われる。予想以上の豊作となったことで、10～11月の市場は、再生産価格(市場価格kg ¥75)を割り込み、厳しい販売が続いたが、年末需要期を迎えてやや回復の気配にある。産地では先見通しにやや楽観ムードが台頭しているが、年明けの需給バランスは需要が伸びない限り、前年同様の厳しい状態が予想され、楽観視は許されない。今年の作柄は、地域差や圃場格差があるものの、全道的には豊作で球流れは総じて大粒傾向で、2Lの発生率が高いほか、外品の発生率も高く、軟質傾向である。現在の天候は、降雪が早く積雪量も多く、長期貯蔵には好適な気象環境にあると見ているが、年明けのロス率が気掛かりである。此の先も、ホクレン主導の出荷態勢が続くが、需要喚起と価格安定に向けた施策が望まれている。近年、玉葱の需要は家庭消費が伸び悩み、業務需要が伸びているが、訪日客の急増で業務需要が更に伸びることを期待している。

府県産地

府県産地では、既に次年度産玉葱の定植の最盛期を迎えている。極早生産地の長崎では、10月からの天候不順で定植が遅れ、初期生育が懸念されている。続く大産地の佐賀では、前年はベト病の大被害で近年にない不作となり、生産者の栽培意欲が減退傾向にあり、産地対策に県を始め関係団体が一丸となって、生産者の支援に取り組んでいる。しかし、晩秋初冬の天候不順で苗立ちが悪く、定植の最盛期を迎えた12月も、雨天曇天が多く、圃場が乾燥せずマ

マルチ掛けが遅れている。定植作業は、手作業から機械作業に移行したことで、晴天が続かないと移植機が圃場に入ることが出来ず、作業が大幅に遅れている。例年、年内の定植進捗率は85～90%だが、現在の予想では70%が精々で見られており、マルチ早生は作付け減を余儀なくされている。中晩生は年明けの移植でも作柄に大差はないと云うが、苗の老化が心配である。現在、生産者の間では蓮根、海苔の収穫が優先され、玉葱の定植が後回しになっている。

佐賀に次ぐ大型産地の淡路島では、育苗は順調で前年並みの作付けが予想されていたが、12月は天候不良で降雨の間隔日数が短く、圃場が乾く間がなく、移植機が稼働出来ず、定植作業は後ずれしている。早生の定植は11月中に終了したが、主力の中晩生は、手植えの圃場は晴れ間を見ながらの作業で、定植はほぼ終了したが、機械植えは後ズレしている。なかには乾燥不良の圃場で定植をしている生産者も見受けられるが、生育が懸念されている。中晩生は1月末までに定植が出来れば、平年作は確保出来るとの思いがあり、栽培面積の大きい生産者は後ズレにも焦らず落ち着いている。

外国産地

11月の輸入は、速報値で、25,358トン前年比141%。前年並みにとどまると見た予想を大きく上回った。国別の輸入量では、中国が23,830トン前年比138%。アメリカが1,516トン前年比209%、となっている。

中国、産地相場は一時値上がりしたものの、現在は値下がり傾向にあり、現在の日本向け価格は、ムキ玉20kg・C&F・\$10.40前後に値下がりしている。為替は急速な円安になっているので、コスト的には値下がり幅は小さい。

アメリカ、貯蔵性玉葱の作柄は、総じて平年を上回りアイダオは豊作と聞く。クリスマス直前にも拘ら需要は振るわず、現地価格は\$4前後に軟化している。現在、日本向けオファ価格は、50㍍・Jサイズ・C&F・\$7.75前後でMサイズは若干高い。台湾向け輸出も低調の様様。

1月の市況見通し

在庫管理が向上し、市場にも産地にも昨年のような滞貨の山は見受けられず、年明けの需給は改善されるとの期待ムードにあるが、府県の極早生の作柄も、輸入情勢も流動的で楽観は禁物である。秋からの天候不順で秋冬野菜の需給がタイトになり市況は異常高となったが、年明けは天候にも依るが需給緩和の傾向にある。また、前年度は北海玉葱が台湾・韓国向けに25,000トン輸出されたが今年期待薄。中国からのムキ玉の輸入は加工筋の人手不足などから大幅な減少は期待薄。玉葱の業務加工向け需要は増加傾向にあるが、需給の改善度は未知数。1月市況は北海物L大¥1,500～1,300を予想。(了)